重点アクションプラン（瀬戸市）

■整備計画

①整備スケジュール

計画区分	事業	事業内容	1 平成28	2 平成29	3 平成30	4 平成31	5 平成32	6 平成33	7 平成34	8 平成35	9 平成36	10 平成37	備　　考
施設整備	下水道	未整備地域の整備											
	浄化槽	浄化槽設置補助事業											
実行メニュー（早期概成）	共通	低コスト手法による整備の実施											
		補助金による浄化槽整備の促進											

②目標値及び概算事業費等

		全体	公共下水道		集落排水施設	その他集合処理（公共事業）（コミプラ）	浄化槽 個人設置型	浄化槽 市町村設置型	その他（民間設置集中浄化槽）	アクションプラン実行時の効果	備考
整備手法	整備人口（人）	116,666	98,755				17,911				
	※中段：ｱｸｼｮﾝﾌﾟﾗﾝの整備人口数	(31,770)	(24,437)				(7,333)				
	※下段：ｱｸｼｮﾝﾌﾟﾗﾝの整備人口数（流入人口）	(4,176)	(4,176)								
	整備面積（集合処理分）（ha）	1,916.69	1,916.69								
	※下段：ｱｸｼｮﾝﾌﾟﾗﾝの整備面積	(476.73)	(476.73)								
目標値	汚水処理人口普及率（%）	93.3%	78.9%				14.3%			約1%増加	コスト縮減の内容
	汚水未処理人口（人）	8,439	0				8,439			約1,000人減少	H28-37コスト縮減額
											地表勾配の採用
											小型マンホールの採用
計画区域内人口		125,105	98,755				26,350				曲管の採用
計画汚水量（m3/日）※日平均		30,876.84	30,876.84								ベントサイホンの採用
計画汚泥量（t/日）※日平均		21.51	21.51								合計　8.0億円
概算事業費	公共下水道建設費（百万円）	14,919.1	14,919.1								
	流域下水道建設費（百万円）	0	0								
	計	14,919.1	14,919.1								
整備人口１人当たりの建設費（千円/人）		521	521							効　　果	
実行メニュー	低コスト手法による整備の実施		○							低コスト工法の採用によるコスト縮減	
	補助金による浄化槽整備の促進						○			普及率の増加	